



ランニングする光星投手陣。13日、兵庫県西宮市

光星、打撃練習に汗 投手陣は軽めの調整

全国高校野球選手権2回戦で、智弁学園(奈良)を破った本県代表の八学光星ナインは13日、兵庫県西宮市の鳴尾浜臨海野球場で、15日の3回戦で対戦する海星(長崎)を想定した練習を始めた。

海星は長崎県大会6試合中4試合で逆転勝ちするなど、粘り強い野球が持ち味。投手陣は変化球主体の主戦柴田らタイアップの異なる右腕3人がそろつ。甲子園初戦では聖光学院(福島)を3―2で破り、17年ぶりに夏1勝を挙げた。

練習は午後2時スタート

あす海星(長崎)戦

ト。野手陣は右の打撃投手2人を相手に、海星投手陣を入念にイメージ。投手陣は、打撃練習に加

わった下山(弘前四中出)を除く4人が軽いランニングを行うにとどめた。前日の疲れを考慮し、規定時間の半分の1時間ほどで練習を切り上げた。

4番原は「甲子園での2戦は、打たなければと、気が持ちが強すぎて空回りした。次戦では結果を残したい」と語った。

(大久保拓地)